

ヨウ素125線源永久挿入による前立腺がん小線源療法

当院における前立腺癌に対する 小線源治療29例の成績2007-2010

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座
神村典孝

H19/7/24 ~ H22/3/16

治療の適応条件

- ▶ すべての前立腺癌患者に可能な治療法ではなく、以下のLow Risk群を適応としているが、場合によっては適応拡大も可能であり、担当医との相談の上決定する。

臨床情報	条件
Positive Core	30%以下
Gleason Score	3+3以下
年齢	70歳以上
PSA	10ng/ml以下

29症例の患者背景

年齢	平均69歳
----	-------

初診時PSA	7.5ng/ml
--------	----------

Gleason Score	3+3: 8例 3+4: 19例 4+3: 1例 4+5: 1例
---------------	---

Clinical T分類	T1c: 23例 T2a: 6例
--------------	---------------------

シード数	平均52本
------	-------

施行スケジュール

1. 診断確定後、半年から1年間のホルモン療法（紹介元にてMAB, CAB）
2. 再紹介後、放射線科、麻酔科受診し準備
3. 4泊5日で入院
 - ✓ 月曜：入院、硬膜外チューブ留置
 - ✓ 火曜：治療シード埋め込み
 - ✓ 水曜：尿道バルンカテーテル抜去
α1ブロッカー内服開始
 - ✓ 金曜：退院

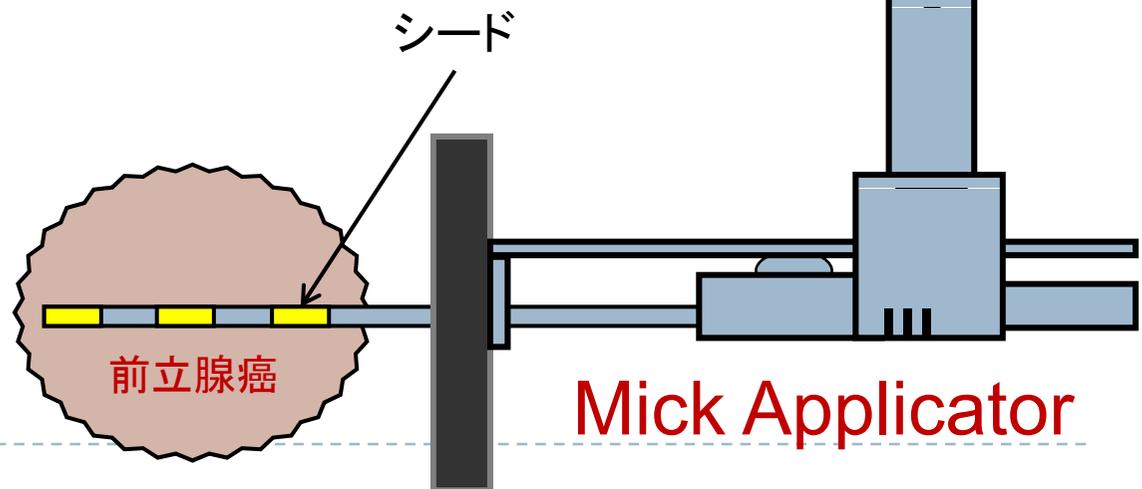
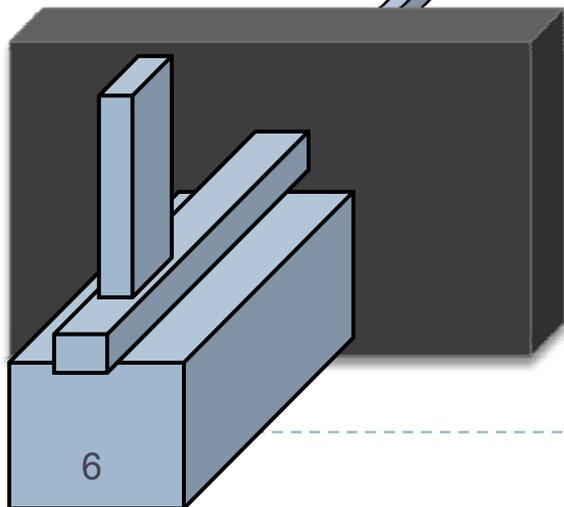
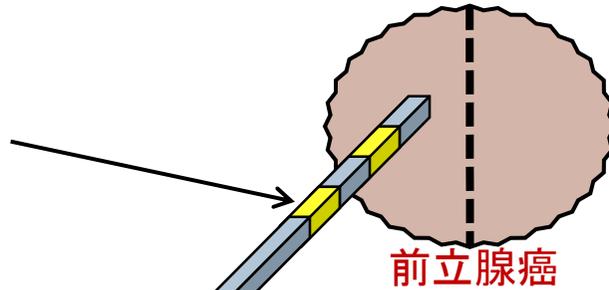
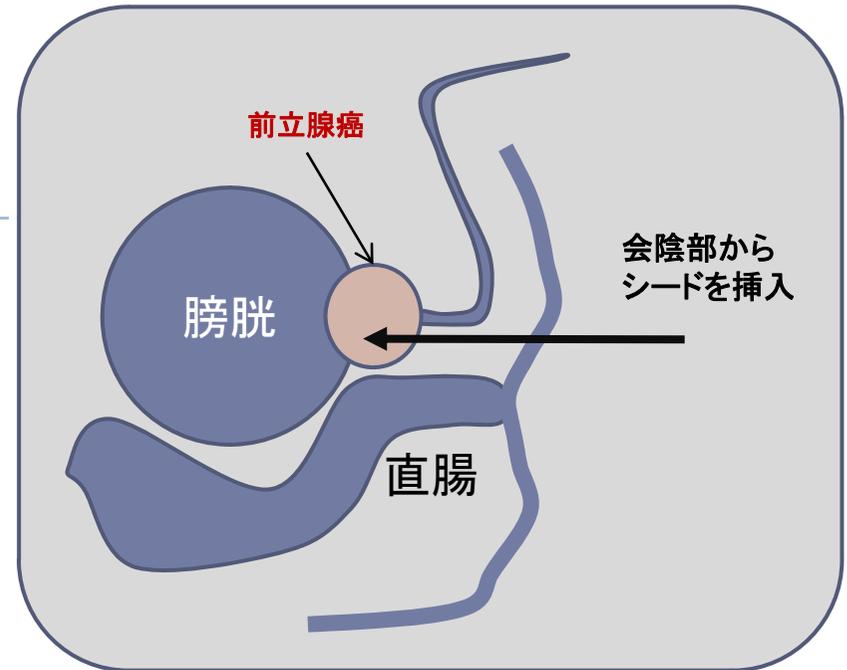
退院後の通院

- ▶ 退院後1か月、3か月、以降3か月毎
- ▶ 採血項目
 - ✓ 高感度PSA、テストステロン
数値にて治療効果、再発の有無をチェックします
- ▶ 問診票に記載する項目
 - ✓ IPSS、OABSS、EPIC
QOL、排尿状態、ホルモン機能、性機能をチェックします。

小線源治療の実際

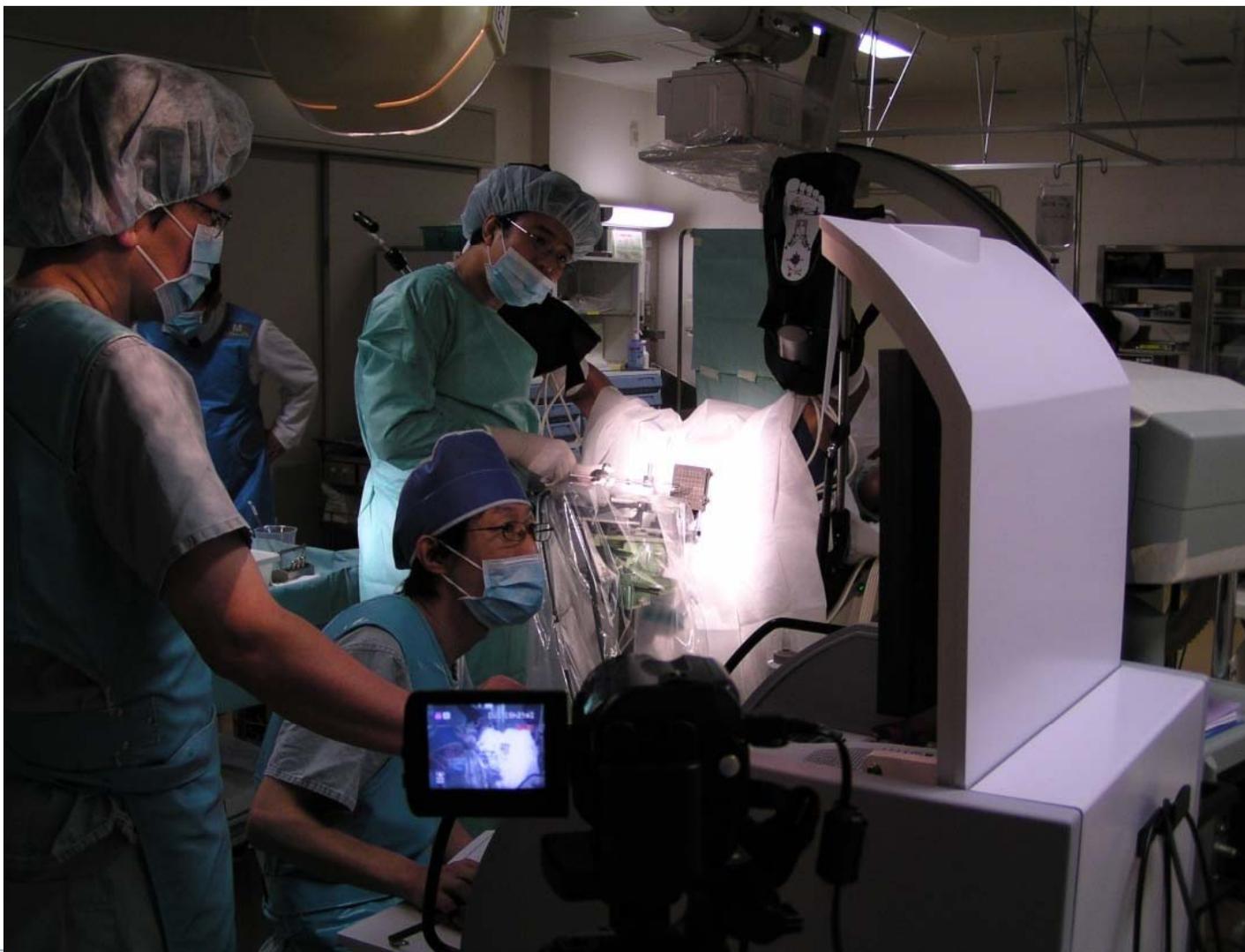


ヨウ素125線源(シード)

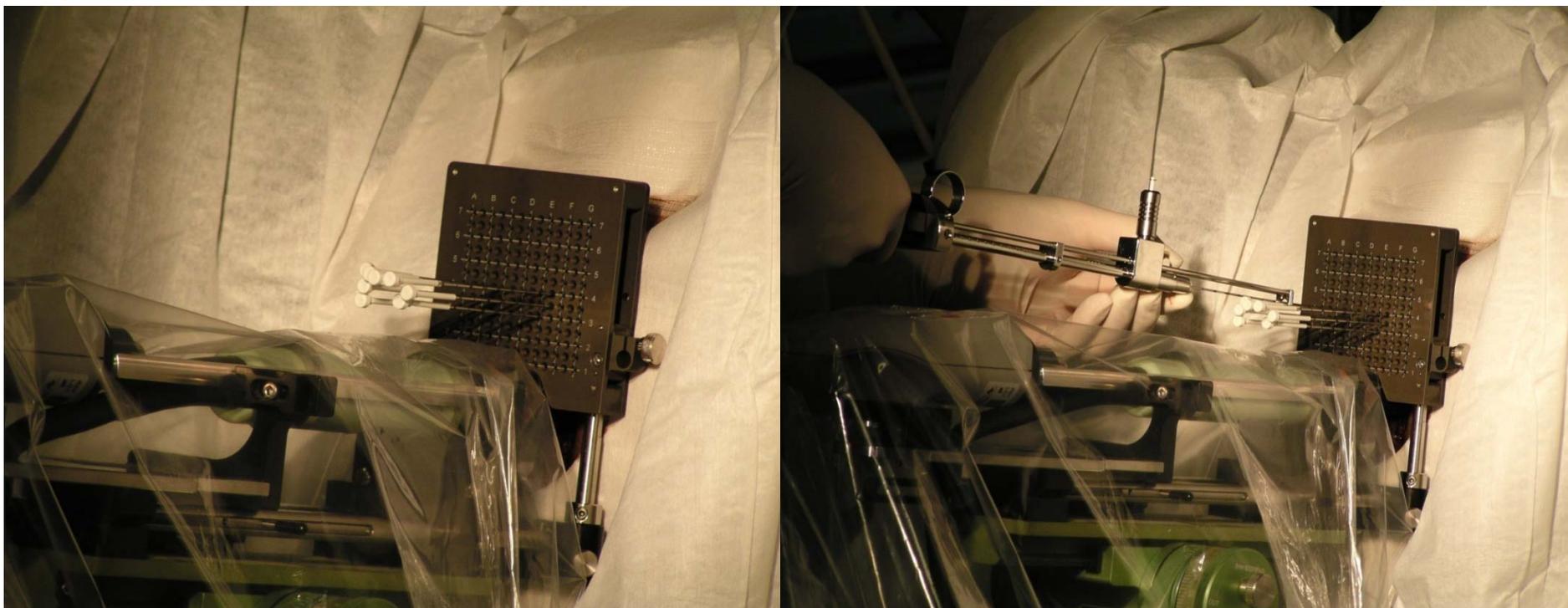


Mick Applicator

治療風景



刺入の実際



コンピューターでのプログラミングに従い、最適な部位にシードを挿入していく

小線源治療室、病棟



放射性物質を扱いますので、専用の治療室、病室
が必要になります。

成績と有害事象

- ▶ 2年半で29例施行
- ▶ **PSA再発1例(3%)**
 - ・・・カソデックス単独療法にてコントロール可能
- ▶ **術後排尿障害1例(3%)**
 - ・・・1か月で改善
- ▶ 直腸障害、性機能障害なし